第１回　SusHi Tech Tokyo 実行委員会

１　日　　時：　令和８年７月７日（火）15:30～16:30 【オンライン開催】

２　出 席 者：　東京都副知事　宮坂委員長
東京都スタートアップ戦略推進本部　佐久間副委員長
一般社団法人日本経済団体連合会　小川委員
公益社団法人経済同友会　齋藤委員（代理出席・大橋氏）
一般社団法人新経済連盟　関委員
東京商工会議所　小林委員（代理出席・張替氏）
一般社団法人スタートアップエコシステム協会　藤本委員
一般社団法人スタートアップスタジオ協会　佐々木委員
一般社団法人インパクトスタートアップ協会　福田委員
一般社団法人スタートアップ協会　砂川委員

３　議事概要：　①宮坂実行委員長より開会挨拶
②事務局より報告事項についての説明
・SusHi Tech Tokyo 2026 について
③事務局より審議事項についての説明
・実行委員会設立に伴い策定する規約類
・事業計画・収支計画
・東京都との協定締結
・企画・運営等業務委託の公募開始について
④審議及び意見交換
・2026 開催の課題・改善点と、それらの 2027 仕様書・審査項目への反映状況はいかがか。
→ビジネスにつなげていくため、ネットワーキングや個別マッチング、会場ツアー等によるマッチング強化を仕様書・審査項目へ反映している。また、会場運営面で、混雑や待機時間対策としてスタートアップ技術の活用を盛り込んでいる。
・商談数だけでなく、その後の成果、東京のスタートアップエコシステムへの波及効果についても継続的に把握・分析すべきである。
→出展企業の評価額推移やフォローアップ調査を通じて成果を把握しており、調査結果や分析内容を実行委員会へ共有する。
・海外 VIP の招致や開催規模の拡大は評価できる一方、VIP 対応、登壇者対応、事前説明等については改善の余地がある。運営体制や関係者とのコミュニケーションを強化すべき。
→課題は認識しており、体制強化と早期の調整・情報共有に取り組む。
・参加者数や商談件数といった目標については、数値達成だけでなく実際の効果を測定できる指標の設定が必要である。アンケートについても、開催改善につながる設問を充実すべき。
→参加者数及び商談数を重要な KPI として位置付けている。フォローアッ

プ調査やアンケートを活用して成果分析を進めるとともに、アンケート内容や結果を共有し、委員の方の意見も踏まえて改善を図る。

・課題把握にとどまらず、スタートアップや AI 等の先端技術を活用し、イベント自体の進化を体感できる場とすべき。また、受付、アプリ及びネットワーク環境の改善が重要である。

→AI 翻訳・通訳、受付、案内、混雑緩和等へのスタートアッププロダクト活用を推進し、受託事業者と連携しながら参加者体験の向上及び継続的な改善に取り組む。

→会場の活用方法等については、受託事業者決定後に来場者満足度が上がるような形で具体的に検討する。

※可決

⑤佐久間副委員長より閉会挨拶